

暑さに悩まされた夏が終わったとたん、  
秋を感じる前に冬をむかえてしまいそうです！

気が付けば11月に入ってしまった。つい先日まで、半袖でも快適に過ごしていた気がしますが、服装はすでに冬を迎える様相を示しております。朝晩は、特に冷え込みが厳しく、気を抜くと一気に体調を崩しそうな日が続きます。お気をつけてお過ごしください。

さて、服装もそうですが、さまざまなことで冬への準備が必要になってまいります。今一度、確認して冬への対応を進めましょう！

### ・ストーブ、暖房設備の点検

この時期は火災の増加する傾向にあります。もうすでに、ご使用になられた方もいらっしゃるかもしれませんが、しばらく使っていなかった暖房機器を使用する際には、暖房設備の故障や隙間に入ったごみなどが原因で火災を引き起こす場合があります。ぜひ、試運転をして異常がないかを確認しましょう。異音、異臭などがしたら、離れずに様子を見て、改善しないようなら業者に点検、修理をお願いしましょう。

### ・冬支度のやり残しはありませんか？

まだ、気が早いかもしれませんが、散水栓の水抜きや網戸の取り外し、無落雪屋根のダクト清掃、床下換気口の閉鎖など、やることは意外と多いものです。その時のために、目につく場所にやることをメモしたり、ご自宅にお住まいの方と会話をしておくことでやり忘れを防げるかもしれませんので、気になったら行動してみましょう。

早めに対策して、少しでも冬に、雪に負けない生活をしていきましょう！



残念ながら伏古本町連合町内会区域内で死亡交通事故が起きました。

先月のミニ情報で「秋の交通安全市民総ぐるみ運動街頭啓発」をお伝えしたばかりですが、伏古本町連合町内会区域内で10月8日（日曜日）17時半ごろに信号機のない市道交差点付近で歩行中の男性が乗用車にはねられる死亡交通事故が起きました。

10月16日（月曜日）、交通死亡事故発生現場付近（伏古8条5丁目、宮の森・北24条通）において、札幌東警察署や伏古本町連合町内会、交通安全関係団体、東区職員などの関係者が集まり、事故の原因及び再発防止策等について協議を行いました。

はじめに札幌東警察署の早坂大介交通第一課長から

- ・ 事故は横断歩道のない交差点で起きたこと
- ・ 当時は夕方で周囲が暗くなり始めていたこと
- ・ 近くの北24条桜大橋がことし8月に開通し、交差点の交通量が増えていること

などの説明がありました。

札幌東警察署から事故の発生状況について説明を受けた後、参加者が、この現場付近や周辺地域の交通事情で気になることなどについて意見を出し合い、事故を防ぐために警察が対応を検討する事柄や地域住民に呼びかけていく内容などを確認しました。

痛ましい事故を繰り返さないために、みんなで交通ルールを守り、特に以下のことに気をつけましょう。

- ① 歩行者は、明るい服装や夜光反射材を身につける。
- ② 遠回りになっても横断歩道のある交差点を横断する。
- ③ 運転手は、夕暮れ時は早めのライト点灯を心がけ、前方を注視して運転する。